

### (3) 校内研究計画

#### 1 研究主題

互いを高め合い、よりよい学級・学校生活をつくろうとする子どもの育成  
～自主的、実践的な集団活動の指導の工夫を通して～

#### 2 主題設定の理由

今後の我が国は、生産年齢人口の減少、人工知能（AI）の飛躍的な進化、グローバル化の進展や技術革新等により、複雑で変化が激しい時代となる。また、新型コロナウイルス感染症の爆発的な流行により、その傾向はより顕著となっている。そのため、これからの社会をつくる子どもたちには、様々な変化に積極的に向き合い、多様な他者と互いのよさを生かしながら、自ら将来を切りひらいていく力が求められている。

本校では、昨年度まで3年間、「生き生きと自分の思いや考えを伝え合う子どもの育成を目指して～外国語活動・外国語における「話すこと」の指導の工夫を通して～」の研究主題の基、外国語活動・外国語の研究を進めてきた。外国語を安心して用いることができる学級の支持的風土を培い、コミュニケーション活動充実のための手立てや評価の工夫を中心にした授業づくりに取り組んだ。その結果、外国語活動・外国語においては他者と主体的に関わり、自分の思いや考えを何とか伝えようとする姿が多く見られるようになった。しかし、その力が他教科、領域、実生活に波及するまでには至らなかったことが研究の課題として残った。

本校は、豊かな自然に囲まれており、全校児童89名と小規模で単学級のためクラス編制もない。児童のほとんどが同じ保育機関出身で、互いの性格を熟知しているため、自分の考えを主張したり、考えの違う友達と議論したりする経験は少ない。また、児童は、日頃より保護者、地域の方々から温かな愛情を受けており、素直で大変純朴である。素直すぎるがために、大人からの指示に頼りがちな児童が多い。さらに、学級・学校、自己の生活における課題を認識することはもちろん、自分たちで課題解決するまでには至っていない。

以上の実態を踏まえ、今年度は主題を「互いを高め合い、よりよい学級・学校生活をつくろうとする子供の育成～自主的、実践的な集団活動の指導の工夫を通して～」とした。自主的、実践的な集団活動とは、特別活動における活動の内容であり、形態である。特別活動において、様々な課題を解決するための活動に実感を伴って取り組むことで、集団や自己の生活、人間関係をよりよく形成しようとする児童の育成を図る。

#### 3 研究の目標

他者と協働しながら自己の生活を高め、よりよい学級・学校生活づくりに参画する子供の育成を目指し、自主的、実践的な集団活動の在り方を明らかにする。

#### 4 研究の仮説

児童が所属する集団や自身の生活における課題を見出し、他者と協働して解決できるよう、計画的、継続的に活動を仕組めば、児童は、集団や自己の生活及び人間関係をよりよく形成しようとすることができるだろう。

## 5 研究の内容と方法

### (1) 指導技術向上のための研修

- ① 授業の実践・・・単元構成、題材、授業展開等の研究  
授業研究会（全体研3回）

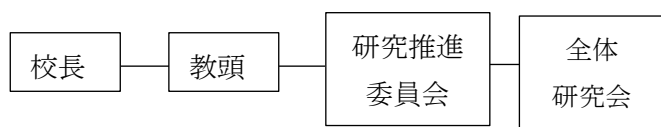
- ② 理論研究・・・講師招聘、先進校の視察・報告会

### (2) アンケート等の調査の実施・・・児童の実態及び変容の調査

### (3) 環境づくり・・・教室、校内掲示の工夫

## 6 研究の組織

### (1) 組織図



- それぞれの部のリーダー（◎）を中心に  
計画・検討・実践を行う。

学年部会	低学年部会 ◎平川・中野・川崎・藤田
	中学年部会 ◎吉田・池田・丸井
	高学年部会 ◎森山・久保・今田
専門部会	授業づくり部会 ◎川崎・平川・池田・森山・今田
	環境づくり部会 ◎丸井・中野・吉田・久保・藤田

### (2) 専門部の活動内容

- ① 授業づくり部・・・児童の実態把握のための意識調査、学習指導案（形式）の提案、  
先進校、研究発表校の資料収集
- ② 環境づくり部・・・学習環境づくりの推進（教室・校内掲示）、教材・教具の作成および整理、保管

## 7 研究の計画

4月	研究推進委員会、全体研究会 学年部会	10月	学年部会、専門部会 研究推進委員
5月	全体研究会、専門部会	11月	全体研究会（講師招聘・全体授業研②）
6月	全体研究会、意識調査の実施 全体研究会（全体授業研①）	12月	全体研究会（講師招聘・全体授業研③）、 意識調査の実施・分析
7月	専門部会、学年部会、 全体研究会、意識調査の分析	1月	全体研究会（研究のまとめ） 専門部会、学年部会
8月	研究推進委員会、専門部会、学年部会 全体研究会（講師招聘・理論学習）	2月	全体研究会（研究のまとめ） 学年部会
9月	学年部会、専門部会	3月	研究推進委員会